

6m and down 2022 参戦記

JM1LZT 富山俊一

過去2年ほど、JA1ZCXの猫の手オペとして7月の第1土日を日光で過ごしてきました。そして今年も。

さすがに3回目のコラボなので、事前準備はスムーズでした、ただし、人の確保を除いて…可能性のある知人、友人に声をかけましたが、成果なし。土曜の夜のオペが3名しか確保出来てない状態がなんとか4名になったのは本番直前でした。

心配された天気、土曜は降らず気温は24℃ぐらい。「下界」のことを思うと天国でした。

例によって設営はスムーズに進み、見慣れたアンテナ群とテントが現れてきます。

ただ、ここで大失態発覚。なんと私がローテーターのコントローラーを持ってくるのを忘れてしまったんですね^^;

善後策を協議の結果、50MHzの7エレとサブの4エレをどちらも手回しでということに(まあ、他に選択肢はないわけですが)

4エレはともかく、7エレの手回しは痛恨です。物理的に大変というのもさることながら、やはりリグの前で信号やバンド状況を聞きながらアンテナを回せないとオペレーションの効率は落ちます。それを補うためのサブアンテナではありますが、やはり7エレを自在に操れなかったのは辛いものがありました。

それでも何とか13時ぐらいにはひと通り設営を終え、ランチブレイク。仲間と過ごすこの時間、とても貴重でステキです。日ごろ山奥で2日間人と接しないコンテストウィークエンドを過ごしている身には、うれしすぎます。オッサンばかりで何が楽しいのか？楽しいんだから

しょうがない。女子会ならぬ男子会です。新橋のガード下金曜の夜 10 時状態です♪

その後細かいセッティングなどをしつつ、仮眠へ。これは本当に重要。ひとりでやってる時にセッティングが遅れ仮眠しないまま本番突入でどれほど痛い目にあったことか σ^_^; コンテスト開始は 21 時ですから、19 時ぐらいにアラームを仕掛けしやしきゅ〜け〜♪

目覚めるとまだ外は少し明るい、夏です。もそもそとタバコだのコーヒーだの「目覚めの儀式」を済ませ、リグの電源を入れてみると、E スポであっちゃこっちゃ聞こえてきます。期待しちゃっていいのかな？過去のコンディションに恵まれなかった時やコンディションを活かしきれなかった時のことが思い起こされてきます。監督からの指示は今年も「600QSO 40 マルチ」私は未達の数字です。「今年こそ」と思いを強め、最後の準備へ。

21 時。定石通り SSB スタートです。7 エレを南に向け CQ 連発。さすがに呼ばれます。

日付けが変わるまでは SSB のつもりでしたが、意外と「弾切れ」が早く、2 時間ちょっとで CW へ。どうも体感としては、このところ 50MHz は CW 人口が明らかに増えてます。この傾向は最後まで続き、局数、マルチともに CW の比率が高くなった(高くせざるを得なくなった)のは今回の特徴かもしれません。実際、「ギリギリの信号」に対する了解度の高さは CW が断然有利なわけで、今回も貴重なマルチ獲得の大半は CW によるものでした。

日曜も午前 3 時をまわり、聞こえる信号も同じものばかりに。コンディションの上昇を祈りながらしばし休憩。

5 時ごろから戦闘再開。早朝特有の長距離伝搬を期待しましたが、残念ながら成果はなし。CW を中心にワッチと CQ。久保田さんからこの時間帯にコールいただきました。本当にいつもありがとうございます。日の出とともに SSB もアクティビティが上がってきているのが分かります。

8 時ごろには若干 E スポが開いたのか、短時間 8 エリアが。そして今回のハイライト(というかローライト)

11 時前ぐらいから E スポで北も西も聞こえ始めました。きましたっ、ついに稼ぎ時です。小雨の中 2 本のアンテナの方向決めにてんやわんやしているとどこからともなく雷鳴が…

雨もどんどん強まってきて、稲妻も見ちゃいました。相談の結果しばし待機ということに。リグから同軸を外し人は車内に。痛恨です。



衝撃画

像 2022@日光半月山

13 時ごろにある程度収まってきたので恐るおそる再開してみると、
ほぼ祭りは終わっていました。

後で分かったことですが、私たちの QRT していた 2 時間が、そのま
んま今回の 50MHz のゴールデンタイムだったようです。「アンテナを
どっちに向ければいいのか迷った」という証言も複数…嗚呼
局数は完全に諦め、マルチ稼ぎのため落ち穂拾いをし、何とか 6 エリ
アは全て埋めたものの、8 エリア方面は完全に終わってしまっていま
した。

15 時、終戦です。雨は相変わらず降り続いていました。例年通り、
50MHz 以外は 14 時ごろから撤収を始め、私だけ最後までオペレート。
「空白の 2 時間」のため、局数は昨年より 100 以上少なかったものの、
マルチは過去 3 年で最大とはなりました。もちろんコンディションのお
かげです。

電離層と雷雨。今回も人智の及ばぬ自然の大きな力の前で、狂喜
乱舞したり落ち込んだりのジェットコースターのような 2 日間でした。

アマチュア無線のコンテストといういささか古めかしいかもしれない
旗の下、今年も津々浦々から集い、ステキな 2 日間を共に過ごし、笑
い、興奮し、ちょっとだけ命の危機も共有してくれた、JA1ZCX のみな
さんに深く感謝します。

ありがとうございました。

もちろん、

また、

来年(^_^)/

